

ANIMATED FILMS

FILM HISTORY IN POSTERS PART 5



展覧会 ポスターでみる映画史 Part 5 アニメーション映画 の世界

2025年4月8日[火]-7月27日[日]

*月曜日、7月8日(火)-13日(日)は休室です。



国立映画アーカイブ展示室 (7階)

開室時間:午前11時-午後6時30分(入室は午後6時まで) *4/25、5/30、6/27、7/25の金曜日は開室時間を午後8時まで延長いたします。(入室は午後7時30分まで)

料金:一般250円(200円)/大学生130円(60円)/65歳以上、高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方(付添者は原則1名まで)、

国立美術館のキャンパスメンバーズは無料

料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。()内は20名以上の団体料金です。*学生、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、

キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。

*国立映画アーカイブが主催する上映会の観覧券 (オンラインチケット「購入確認メール」またはQRコードのプリントアウト)をご提示

いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

*5月18日(日)「国際博物館の日」は、無料でご覧いただけます。

主催:国立映画アーカイブ

国立映画アーカイブホームページ www.nfaj.go.jp/

X(旧Twitter):@NFAJ_PR Facebook:NFAJPR Instagram:nationalfilmarchiveofjapan





1



2



3



4



6

いまや世界の映像文化を席卷するアニメーション——日本はその中でも最もクオリティの高い作品を創り出してきた国の一つです。実写撮影に頼ることなく静止イメージを重ねて画面の動きを生み出す独自の表現として、アニメーション作品は映画史の早い時期から生み出されましたが、やがて各国で一大産業へと発展するとともに、独創的な作家たちも活躍してきました。

映画の誕生から130年の節目を迎える本年、当館は、初期作品から現代の新作まで幅広い年代や国のアニメーション映画の系譜を、所蔵する豊富なポスターコレクションなどの資料から網羅的にたどります。ハリウッドのカートゥーン映画、欧州各国の特徴ある名作、そしてもちろん日本が誇るアニメーションの名作にも重点を置き、この映画文化が形作った大いなる潮流を振り返ります。

Animation now dominates the world's visual culture: Japan is one of the countries that has produced the highest quality works. Animated works were created early in the history of cinema as a unique form of expression that creates movement on screen by layering still images without relying on live-action filming, and as it developed into a major industry in various countries, original creators have been active in the field.

This year marks the 130th anniversary of the birth of cinema, and NFAJ will comprehensively trace the lineage of animated films from a wide range of eras and countries, from early works to contemporary new works, using materials such as its extensive poster collection. We will look back on the great trends that this film culture has shaped, focusing on Hollywood cartoon films, distinctive masterpieces from European countries, and of course, Japan's proud animation masterpieces.

展覧会の構成

- 1900s-1910s アニメーション映画の始祖たち
- 1920s-1960s ハリウッド製カートゥーンの隆盛
- 1930s-1980s ヨーロッパ、社会主義諸国のアート・アニメーション
- 1920s-1970s 日本のアニメーション映画
- 1980s-2020s アニメは世界を制す

トークイベント * 詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

ハリウッド・カートゥーンのなかのクラシック音楽

開催日:2025年5月31日(土)
 講師:藤原恒生(当館特定研究員)
 場所:展示室ロビー(7階)

企画の見どころと展示品解説

開催日:2025年6月28日(土)
 講師:岡田秀則(当館主任研究員)
 場所:展示室内(7階)

映画産業におけるアニメーションの歴史

開催日:2025年7月19日(土)
 講師:宮本裕子氏(立教大学現代心理学部准教授)
 場所:展示室ロビー(7階)



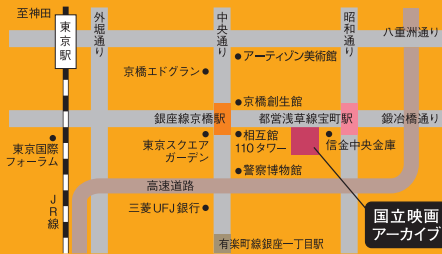
5

- 図版:表(左上から右下)『バツ君町に行く』(1941年、日本公開1951年、デイヴ・フライシャー監督)プレス資料[一部加工]
 『天狗退治』(1934年、大藤信郎監督)ポスター
 『桃太郎の海鷲』(1942年、瀬尾光世監督)プレス資料
 『難船物語 第二篇 海賊船(海の冒険)』(1931年、政岡憲三監督)より[部分]
 裏 1 『悪魔の発明』(1958年、日本公開1959年、カレル・ゼマン監督)ポスター
 2 『線と色の即興詩(プリンキティ・プランク)』(1955年、日本公開1956年、ノーマン・マクラーレン監督)ポスター [部分]
 3 『バヤヤ』(1950年、日本公開2003年、イジー・トルンカ監督)1970年代に作られた学校配給向けプレス資料
 4 『安寿と厨子王丸』(1961年、数下泰司監督)ポスター
 5 『難船物語 第巻篇 猿ヶ嶋』(1930年、政岡憲三監督)より
 6 『ファンタスティック・プラネット』(1973年、日本公開1985年、ルネ・ラルー監督)チラシ

いずれも国立映画アーカイブ所蔵



〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6
 お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600
 国立映画アーカイブホームページ
www.nfaj.go.jp/



- 交通
- ▶ 東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
 - ▶ 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
 - ▶ 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
 - ▶ JR 東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

